

縄文文化の人々が使用していた道具といえ、粘土を焼いて作った土器、石を割って作った石器があります。しかし、このほかにあまり知られていませんが、木を加工して作った道具があります。発寒川のほとりにある石狩紅葉山49号遺跡(約4千年前)では、湿地であつたため、食べ物を盛るなどに使われた「木の器(木製容器)」がたくさん残っていました。

今回のテーマ展や体験講座では、これまであまり知られることのなかった縄文の「木の器」と人々の知恵と技にふれてみることにしたいと思います。

1 テーマ展

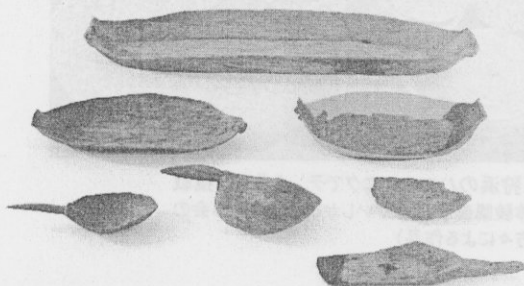
縄文の木の器^{うつわ}

石狩紅葉山49号遺跡から出土した縄文文化のさまざまな道具。今回は、木を素材に作られた容器「木の器」について紹介します。

- 日 程 8/28(水)～10/7(月)
※期間中の休館日:毎週火曜
- 時間 9:30～17:00
- 場所 いしかり砂丘の風資料館
- 費用 入館料300円(中学生以下無料、団体料金15人以上240円)



舟形容器の出土



さまざまな木の器
(舟形容器、柄付容器、漆塗容器など)

「縄文の木の器」って何だろう?

2 体験講座

ミニチュア 「縄文の木のうつわ」を作ろう

石狩紅葉山49号遺跡から出土した木のうつわをもとに、ミニチュアで木のうつわを作りながら、縄文時代の木の文化について学びます(同じ内容で2回開催)。

- 対象 小学生以上(小学生は保護者同伴)
- 日程 8/31(土)
- 時間 ①10:00～12:00
②14:00～16:00
- 場所 いしかり砂丘の風資料館
- 講師 WOOD LANDER'S 木那
片岡 祥光氏
- 定員 ①②各10人(先着順)
- 費用 無料
- 持ち物 軍手、汚れてもよい服装
(エプロンなど)
- 申込方法 8/1(木)～24(土)に電話申込

石狩紅葉山49号遺跡から出土した舟形容器をモデルにしています



製作する縄文の木のうつわ

ERIS「いしかり博物誌」は、えりすいしかりネットテレビ(<http://www.i-eris.tv/>)でもご覧いただけます。

問合せ いしかり砂丘の風資料館(弁天町30-4) ☎62-3711